

にぎわい願う 美濃焼の画

土岐商議所、移転の東濃信金支店に寄贈

土岐商工会議所は25日、東濃信用金庫土岐市駅前支店が「土岐中央支店」として新築移転するのに合わせ、土岐市出身の画家、岡田正志氏(1925～2019年)の100号の油絵「静物」を寄贈した。

(箕浦由美子)



故岡田正志さんの作品「駅前の起爆剤に」

同支店は現在地の南側隣接地に建設中で、4月5日オープン予定。コメダ珈琲店が入居する。絵画は土岐商工会議所ビルに飾られていたが、移転して手狭になり、より多くの人に見てもらえるようにと額縁を新調して寄贈を申し出た。

岡田氏は一水会会友で陶芸家としても活躍。絵は美濃焼の黒織部や志野などが描かれた穏やかな静物画で、1974年のビル完成に合わせて同会議所に贈られた。

大島健太郎同会議所会頭が「駅前のにぎわいを生む起爆剤になってほしい店舗。多くの人に見てもらえれば」と期待を話し、目録を贈呈。市原好二理事長は「土岐市の中核店として、商工会議所との連携を深める象徴にもなる」とあいさつした。応接室に飾られる。

寄贈された油絵と、市原好二理事長(左)に目録を手渡す大島健太郎会頭
土岐市泉町久尻